

第**57**期 株主の皆様へ

株主通信

(中間報告)

2020年1月1日 ▶▶▶ 2020年6月30日

環境調和型企业をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、暮らしのどこかでつながっています。



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2020年6月30日をもって第57期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）上半期（第2四半期）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月



代表取締役社長

山本 浩司

企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

当第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により国内外の経済動向が停滞し、企業収益の減少や個人消費が急激に落ち込むなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、営業活動の自粛や、工期の繰延べなど厳しい事業環境のなか、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした個別製品等において、提案営業強化を図り新規顧客展開に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提

案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,270百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は180百万円（前年同期比20.9%減）、経常利益は187百万円（前年同期比22.9%減）となりました。四半期純利益は、保有する投資有価証券が新型コロナウイルスによる記録的な下落の影響を受け、評価損を計上したことから51百万円（前年同期比68.3%減）となりました。なお、四半期会計期間における投資有価証券の評価は、洗替法を採用しております。

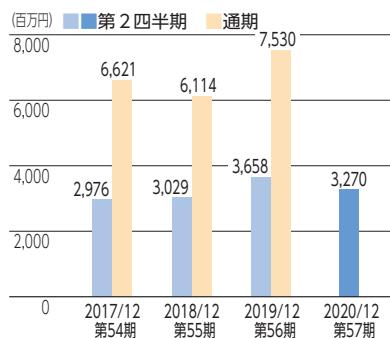
当第2四半期累計期間の概要

売上高
3,270百万円
 (前年同期比 10.6%減)

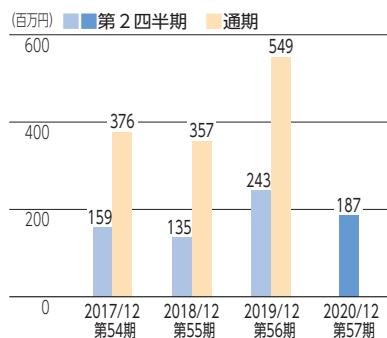
経常利益
187百万円
 (前年同期比 22.9%減)

四半期純利益
51百万円
 (前年同期比 68.3%減)

売上高



経常利益



四半期 (当期) 純利益



1株当たり四半期 (当期) 純利益



純資産・総資産

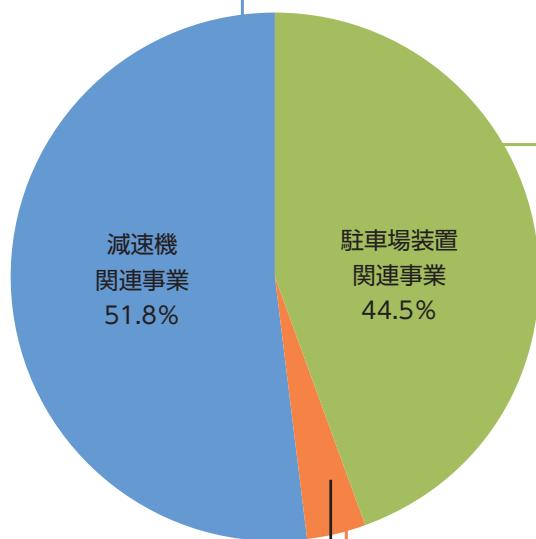


自己資本比率



セグメント別の概況

事業別売上高構成比



減速機関連事業

売上高
1,693百万円
(前年同期比 9.0%減)

《主要製品》
定番減速機
(VX・VCシリーズ)
個別減速機
シャッター用駆動装置
消防用非常装置
(ジェットセイバー)



駐車場装置関連事業

売上高
1,455百万円
(前年同期比 13.6%減)

《主要製品》
機械式立体駐車場
(パズルタワー)
(スーパーパズルGS、LB)
(ペアパーク、アペルト)



室内外装品関連事業

売上高
120百万円
(前年同期比 7.3%増)

《主要製品》
可動間仕切
(スライディングドア)
パネルルーバー



得意の個別減速機が比較的堅調に推移いたしました

無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別減速機が比較的堅調に推移いたしました。全体では工作機械市況の低迷に加え、新型コロナウイルス感染症による営業活動自粛などにより、売上高は1,693

百万円（前年同期比9.0%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等に取り組みましたが、売上高の減少等により108百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

売上高



製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めました

昨年度の大型物件の反動に加え、工期の繰延べにより新築・改修工事が減少したことで、売上高は1,455百万円（前年同期比13.6%減）となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強

化など継続的な原価低減活動に努めましたが、売上高の減少等により、82百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

売上高

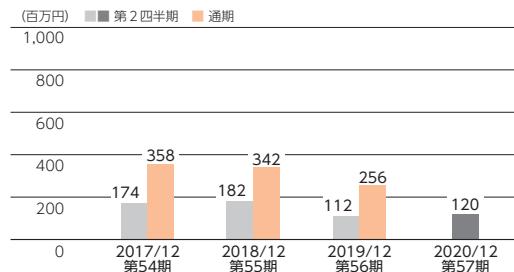


品質管理の徹底と性能の向上に努めました

品質管理の徹底と性能の向上に努め、売上高は120百万円（前年同期比7.3%増）となりました。営業利益につきましては、継続的なコスト

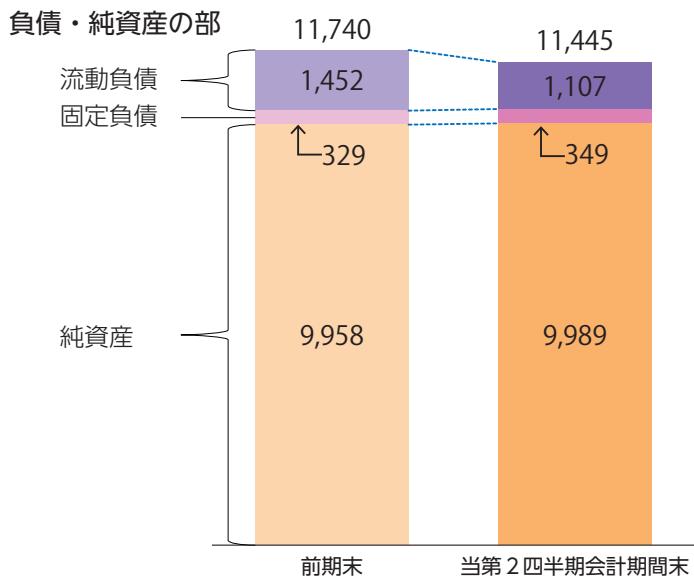
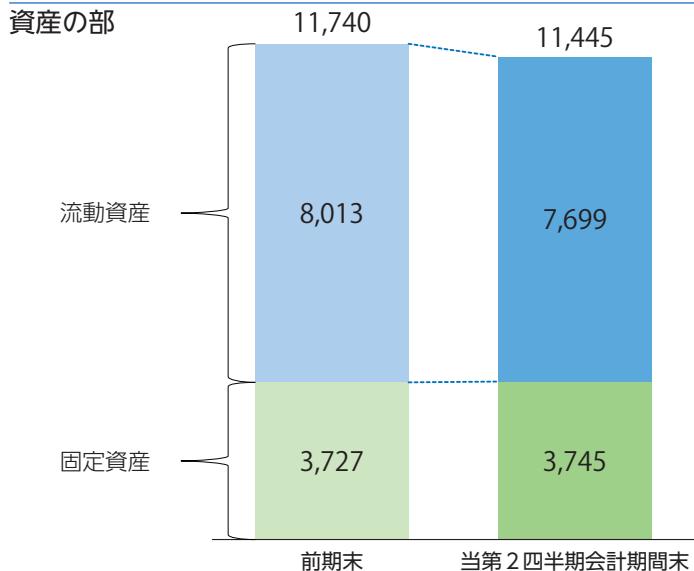
低減活動に取り組みましたが10百万円の損失（前年同期は14百万円の損失）となりました。

売上高



第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)



① 資産

流動資産は、前期末に比べ313百万円減少し7,699百万円となりました。

これは、仕掛品が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことなどが主な原因です。

固定資産は、前期末に比べ17百万円増加し3,745百万円となりました。

これは、有形固定資産が取得などにより増加したことなどが主な原因です。

② 負債

流動負債は、前期末に比べ345百万円減少し1,107百万円となりました。

これは、未払法人税等が減少したことなどが主な原因です。

固定負債は、前期末に比べ19百万円増加し349百万円となりました。

これは、役員退職慰労引当金が減少した一方で、退職給付引当金が増加したことなどが主な原因です。

③ 純資産

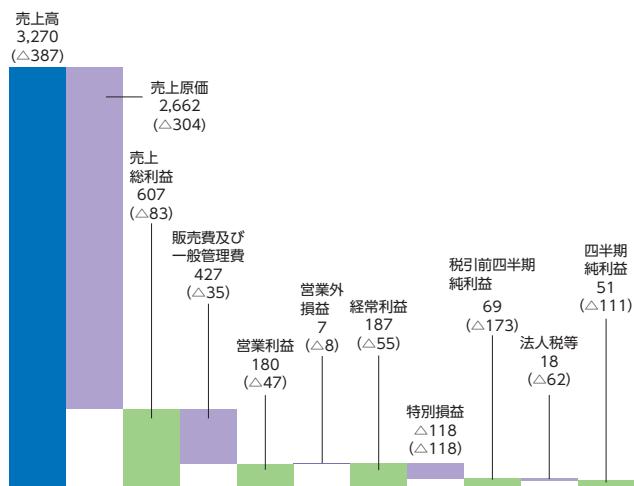
純資産は、前期末に比べ30百万円増加し9,989百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金が増加したことなどが主な原因です。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ2.5ポイント増加し87.3%となりました。

第2四半期損益計算書

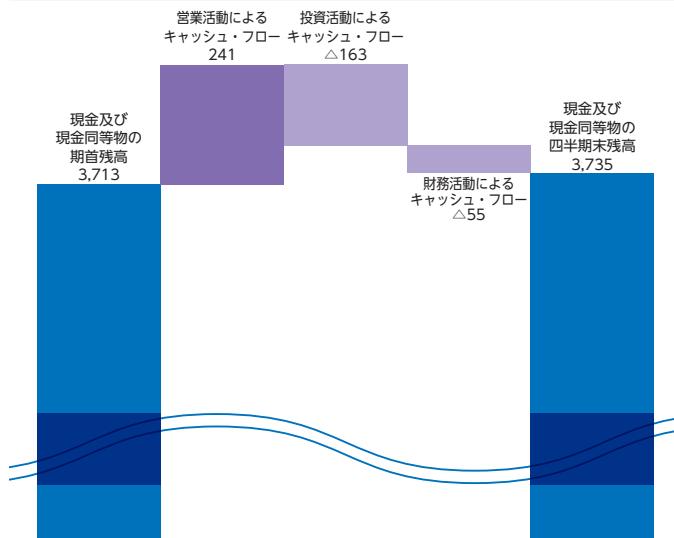
(単位：百万円)



※ 括弧内は対前年同期比

第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

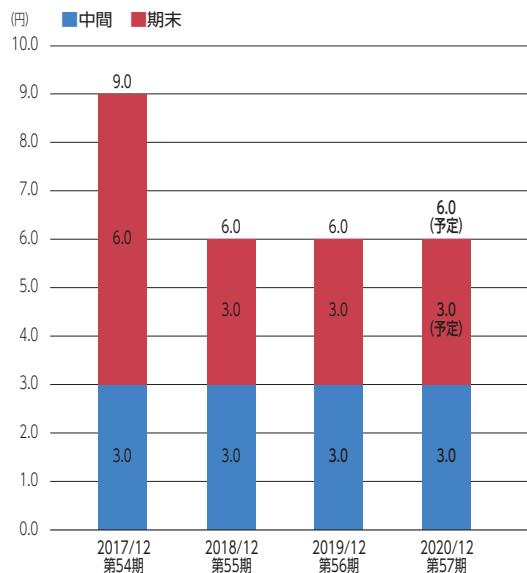


※ 百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり3円を実施させていただきます。また、期末配当金についても、中間配当金と同様に1株当たり3円を予定しており、これにより年間配当金は、1株当たり合計6円となる見込みであります。

1株当たりの配当金の推移



※ 第54期 期末配当には、創業70周年記念配当3.0円が含まれておりません。

会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
創業	1947年4月
設立	1965年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-27) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-27) 第10684号 電気工事業 (般-29) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 市場第二部
証券コード	6295
従業員数	223名 (男性200名 女性23名)

主要な事業所

本社	岐阜県岐阜市中洲町18 電話 (058) 271-6521 (代表)
美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1 電話 (0575) 33-1151 (代表)
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7 電話 (0575) 35-3972 (代表)
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3 電話 (03) 3370-6359 (代表)

取締役

代表取締役社長	山本 浩司
常務取締役	市原 英孝
取締役	蓮井 隆之
取締役	山田 昭広
取締役	佐野 通彦
取締役	前田 弘司
取締役	佐藤 宏之
取締役	山岸 万人

監査等委員である取締役

取締役	後藤 吉久
取締役	木村 静之
取締役	中丸 公之

(注) 取締役の木村静之、中丸公之の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページを
ご覧ください

<http://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。
ぜひ一度、ご覧ください。

株式の状況 (2020年6月30日現在)

株式の状況

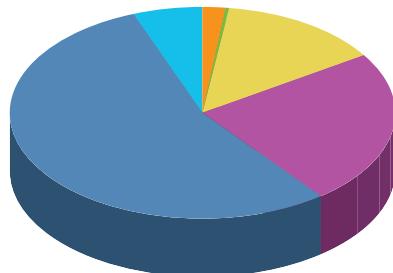
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,558名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.53
富士変速機取引先持株会	1,861	11.00
株式会社愛知銀行	526	3.11
株式会社十六銀行	454	2.68
岐阜信用金庫	437	2.58
MSIP CLIENT SECURITIES	377	2.22
富士変速機従持会	236	1.40
三井住友信託銀行株式会社	171	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	152	0.90
岐阜商工信用組合	141	0.83

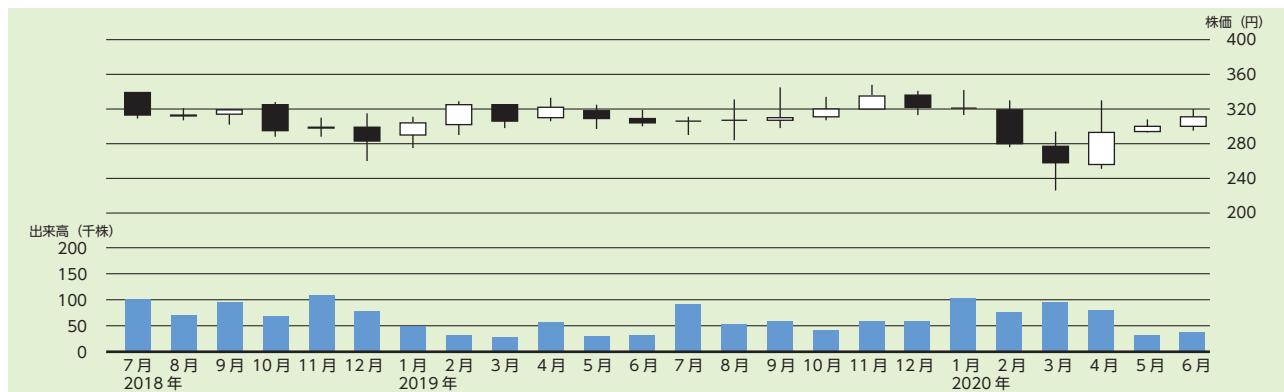
(注) 1. 当社は、自己株式1,039千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



外国人	証券会社
3名	13名
377,700株	9,966株
2.10%	0.06%
金融機関	個人・その他
14名	1,476名
2,412,100株	4,265,123株
13.43%	23.76%
その他国内法人	自己名義株式
51名	1名
9,850,167株	1,039,944株
54.86%	5.79%

株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
剰余金配当基準日	期末配当：12月31日 中間配当：6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.fujihensokuki.co.jp/kessan/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。